

PDM配線マニュアル

Power Distribution Modules



MoTeC

PDM の設定について

キーパッドとPDMは、常時作動状態と、キーONでのみ作動する、2種類の方法を選択できます。

1：PDMでイグニッションONする場合

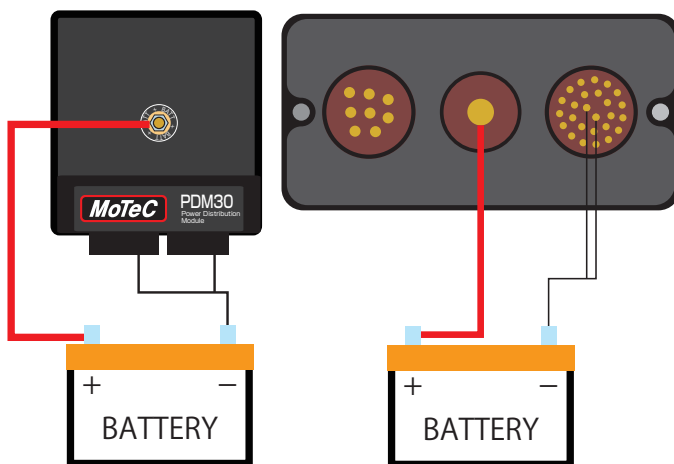
バッテリーONで常時作動状態に設定しておけば、イグニッションONもキーパッドのスイッチに設定できます。ただし、PDMがスタンバイ状態にならないため、車輛を長期間使用しない場合はバッテリーの消耗を抑えるために、キルスイッチを使ったりバッテリーの端子を抜いておく必要があります。

2：ストリートで使用する場合

キーがオフの時はキーパッドを含むすべてのPDM出力をオフに設定できます。PDMもスタンバイモードに入るため、バッテリーの消耗を最小限に抑えることができます。

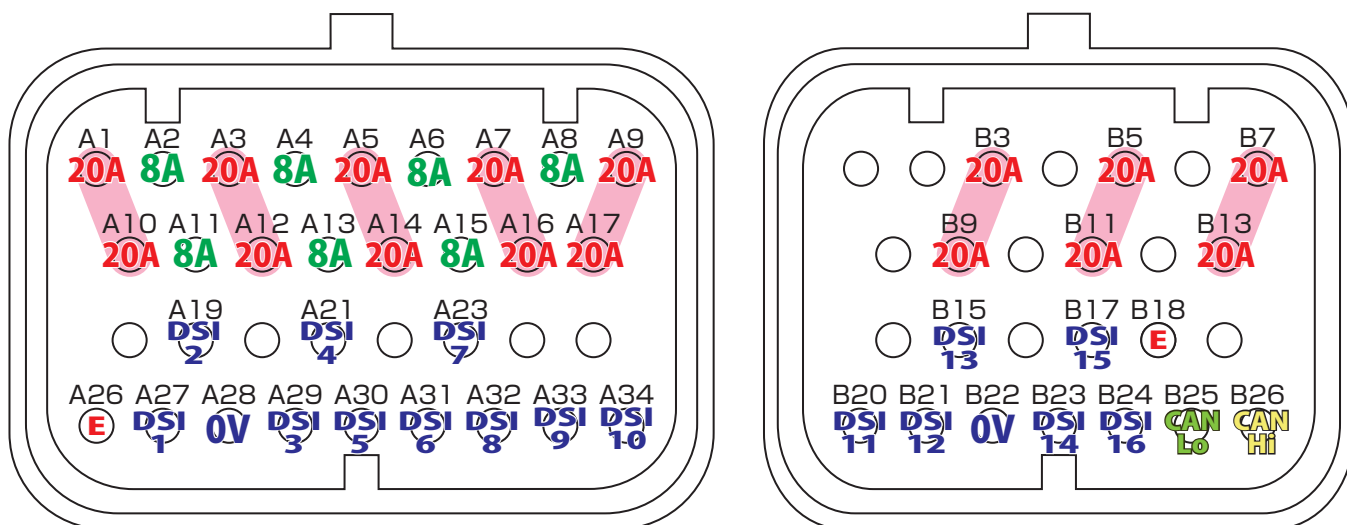
PDM の電源

PDMは、本体に接続した各機器に直接給電します。PDM15は最大80A、PDM32は最大120A、その他PDMは最大100Aの電流を必要とするため、バッテリーから引くプラスの配線は、許容電流の大きい製品を御使用ください。PDM15/30は汎用丸端子を使用するため、電源用の配線の太さには自由度があります。PDM16/32は、6ゲージ（14sq）用と4ゲージ（22sq）用の、2種類のコネクタを選択できます。



※注意 マイナスはボディアースではなく、必ずバッテリーマイナス端子まで引いてください。ここには20ゲージ（0.5sq）の配線を使用してください。

PDM15・30 の 20A 出力



上の図はPDM15の端子です。20A出力は、2個の端子で1個の出力となります。これは、細い配線に最大20Aも出力すると、配線に熱負荷が掛かるための配慮です。例えば20A出力の1番は、A1とA10に設定されているので、まずA1とA10に20ゲージを配線し、接続機器の許容電流に合わせて2本の20ゲージを1本の太い配線に繋ぎ、機器まで伸ばします。PDM15・30ともに、20Aはこのように御使用ください。PDM15と30に推奨する配線は、弊社Milspecワイヤーの20ゲージとなります。

20A 出力

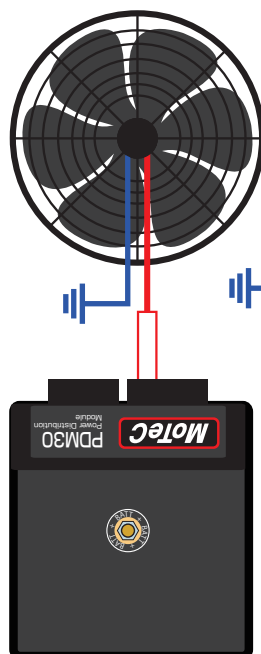
電動ファンなどのモーター類は、スイッチが入った直後の突入電流が50Aを超える場合もあります。PDMの20A出力は、突入電流が大きい機器にも、瞬間最大115Aまで対応することが可能です（115Aを超えると危険です）。

PDMから機器への配線は、PDM15/30の場合は2本となりますが、PDM16/32では太い配線が使用できます。御使用になる用途に応じて、許容電流に余裕のある配線を選択してください。

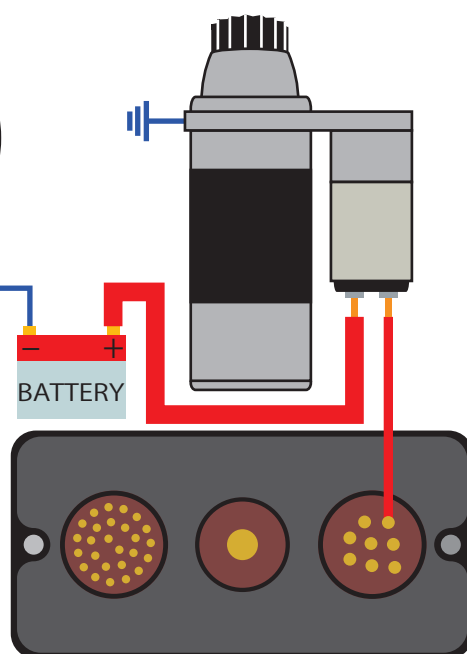
ちなみに、セルモーターへの接続は、マグネット（またはスターターモーターリレー）におこない、セルモーター自体への電源供給はリレーでおこなってください。

※20A出力端子は、最大20A以内での分岐配線も可能です。

電動fan配線例



セルmotor配線例

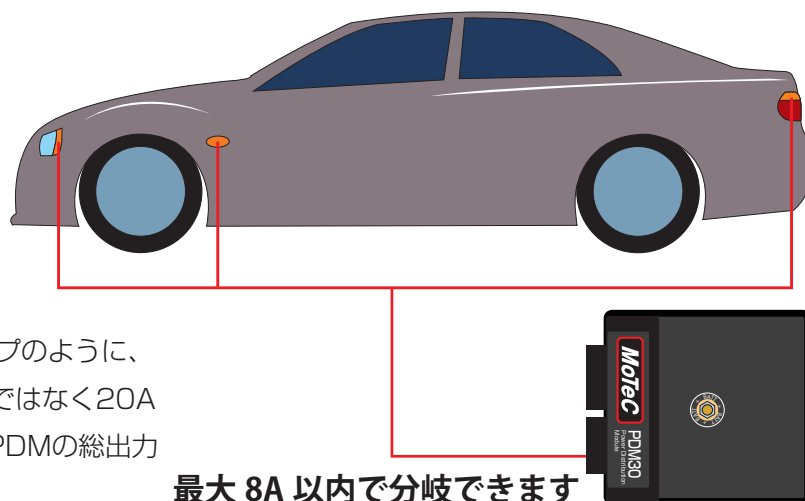


8A 出力

8Aの出力端子は、常用8A、瞬間最大60Aに対応します。ヘッドライトやウインカーへは、この出力を使用します。

出力線は、合計8Aに収まる範囲で複数に分岐配線しても大丈夫です。例えば8A出力1個から、2Aのウインカー4個に分岐させても大丈夫です。

電動ファンやインジェクション用燃料ポンプのように、常時10A前後を必要とする機器は、8A出力ではなく20A出力に接続してください。※全出力の合計がPDMの総出力（30V）を超えないように御注意ください。

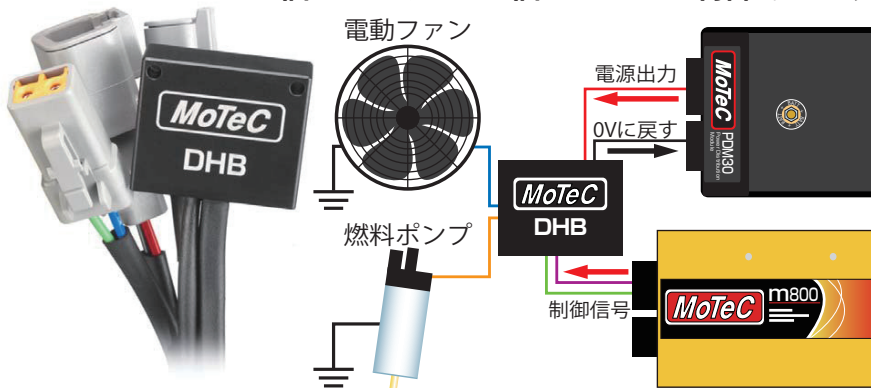


最大 8A 以内で分岐できます

PWM制御について

PDMの出力端子は、各出力ごとにアンペア数の設定が可能です。しかし、電圧を上下させてモーターの速度を可変させるPWM制御には対応していません。PWM制御には、MoTeC ECUやディスプレイで操作するDHB（デュアルハーフブリッジ）が必要です。DHBもPDMと組み合わせることで、ストレータな電源供給が可能となります。

2個のモーターか1個のサーボを制御できます



突入電流

電源ONの際に発生する、定格電流を越える大電流が突入電流です。突入電流は、冷えた状態のランプ類や、コンデンサー内蔵の機器、モーターなどに通電した瞬間に発生します。

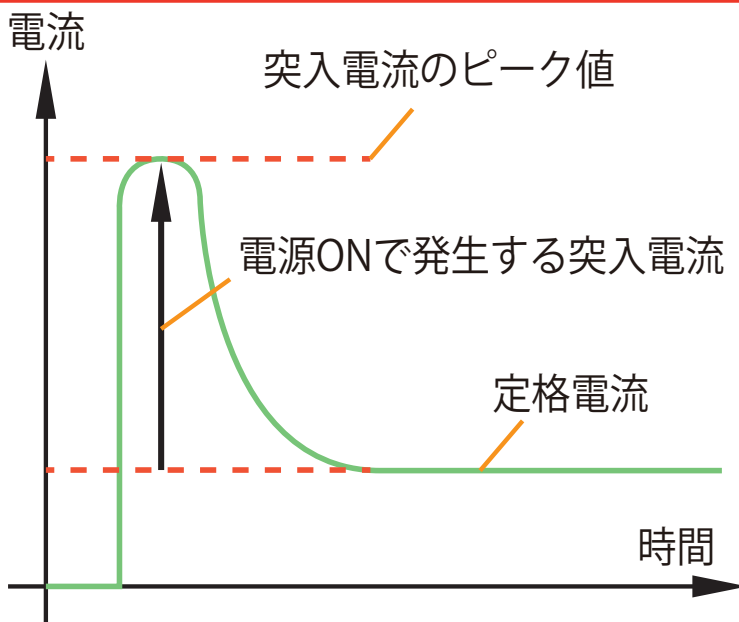
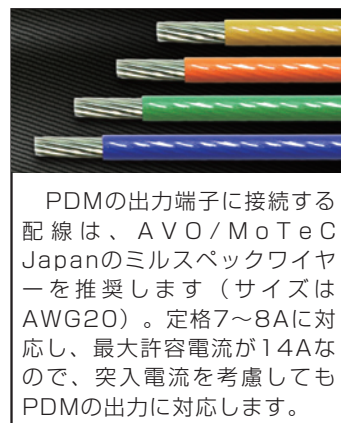
ランプは冷えた状態では抵抗が小さく、暖まると抵抗が大きくなる特性があります。点灯して熱を帯びれば電流は安定するため、大電流が流れるのは僅かな時間だけです。

コンデンサー（電気を蓄える部品）内蔵機器や、コイルを巻いたモーターのような機器も、まずコンデンサーを充電するために大量の電気が必要になるため、僅かな瞬間ですが突入電流で大電流が流れます。

車内の一般的なランプ類やハロゲンバルブは、突入電流で瞬間的に約5倍のピーク電流に達しますが、通常の場合、約0.1秒で定格に戻ります。同様に、燃料ポンプやワイパー、ウォッシャー、パワーウィンドウのようなモーターも、起動時に定格の3～5倍の電流を消費しますが、こちらもおおよそ1秒未満で定格に戻りますので、定格に合わせた太さの配線を御利用下さい。

ちなみに、PDMは短い時間の突入電流を想定した設計なので、上記程度の突入電流が原因で「スイッチが溶ける」「ヒューズが切れる」ような故障は起きません。

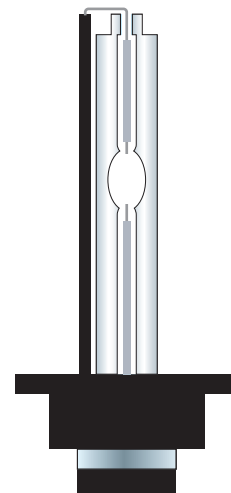
注意しなければいけないのは、モーター本体やモーターが接続されているデバイスが古くなると、より多くの電流を消費するようになることです。そして、突入電流も比例して大きくなる傾向があります。このような場合、デバイスやモーターを新品に交換するべきですが、部品の入手が困難な旧車や希少車の場合は、高A対応の太い配線でPDMと接続するなどの対応が必要です。



HID（キセノン）の突入電流

HIDには、通常電流の約4倍のピークに達する、長時間にわたる突入電流があります。突入電流は約10秒かけて減衰しますが、この10秒間は大電流が流れ続けます。例えば定格3AのHIDであっても、6～8Aの電流が流れ続けますので、配線は定格8Aに対応する物を使用して下さい。

また、他のランプとは異なり、HIDはバッテリー電圧が低下した際に、より多くの電流を消費する特性があります。例えば14ボルトで3Aを消費するランプは、10ボルトで4.2Aを消費します。このような特性があるため、必ず接続するHIDの消費電流を確認した上で接続してください。突入電流のピーク値が8A未満であれば、PDMの出力端子は8A出力を使用します。確実に8Aを越えている場合には、20A出力を使用します。



スイッチ入力

各スイッチからの信号線は、PDMのデジタル/スイッチインプットに接続します。

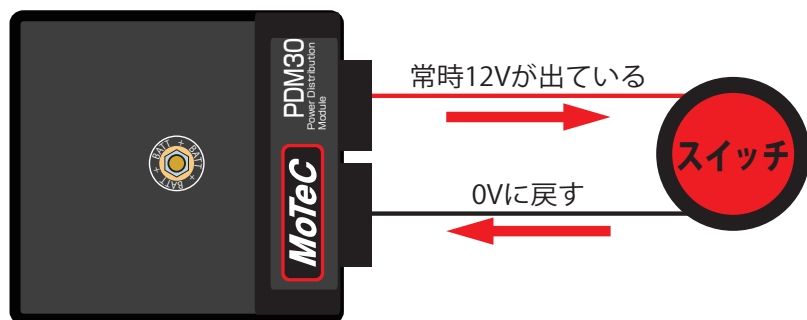
どのスイッチからの信号で何を作動させるのかは、すべてノートPCを接続して設定します。設定の際に困らないように、入力/出力共に、何番のピンに何の配線を接続したかを、必ずメモに残してください。

純正のスイッチ類だけではなく、社外の汎用スイッチにも対応します。



スイッチの配線方法

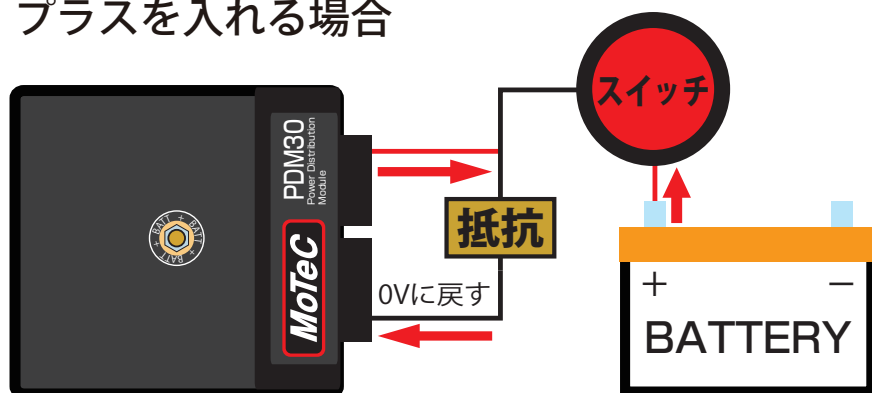
アースに落とす場合



PDMのインプット端子は、常時12Vを出力しています。純正スイッチや社外スイッチを使用する場合、通常はスイッチオンで0Vに落ちるように配線します。

このように配線することで、各スイッチとバッテリーの間に電源線を引くことがなくなり、とてもシンプルな配線レイアウトに仕上がります。

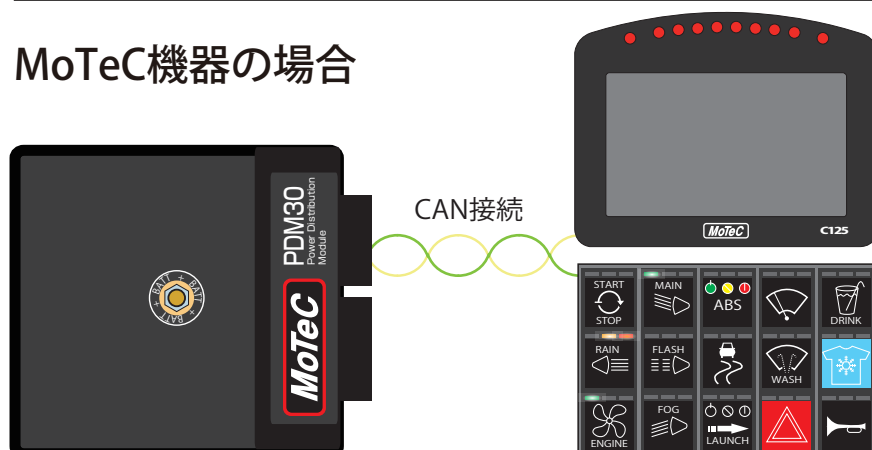
プラスを入れる場合



電源を接続したスイッチを使用する場合、PDM側からも常時12Vが出ているため、左図のように抵抗を噛ませてアースに落としてください（ブルダウ）。抵抗は1.5kオームを使用してください。

これでスイッチのオン/オフ時に大きく電圧変化が発生し、PDMがスイッチ信号として認識します。

MoTeC機器の場合



PDMのスイッチインプットは使用せず、キーパッドやディスプレイロガーなど、他のMoTeC製品からの信号でもオン/オフさせることができます。

この場合、ディスプレイのインプットに接続されたスイッチをはじめ、一定のエンジン回転や水温でオン/オフさせる自動制御も可能です。CANに関しては次頁以降を参照してください。

KEYPAD との接続

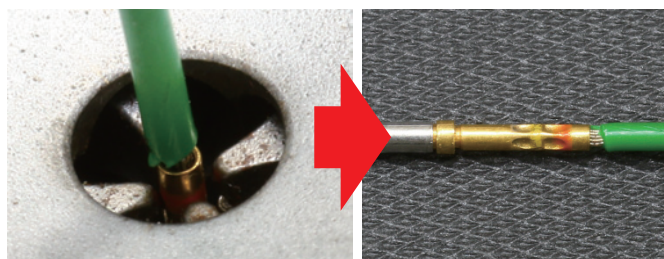
PDM の 8A 出力を使用します

キーパッド端子	PDM15	PDM30	PDM16	PDM32
1:電源	アウット			
2:0V	A 28 B 22	A G A H	A 6~9	A 22~25
3:CAN-Hi	B 26	A K	A 11	
4:CAN-Lo	B 25	A J	A 10	

キーパッドは、PDM本体と2本のCAN配線で接続しますが、それ以外に電源を必要とするため、PDMの8A出力から電源を引き、0Vにアースする必要があります。つまり、キーパッド自体もPDMが電源管理するシステムの一部に組み込まれます。このため、PDMの8A出力端子をキーパッドが1つ占有してしまいますので御注意願います。

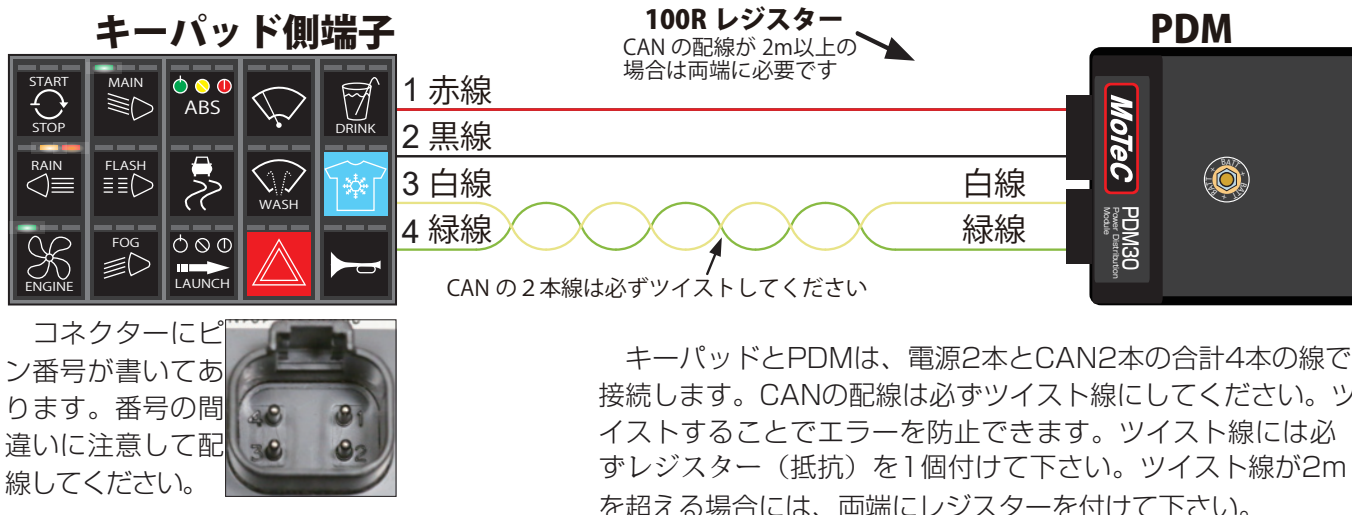
各PDMごとにピンロケーションが異なるため、取付の際はお間違えの無いよう御注意願います。

専用ピンと圧着工具について



キーパッドのDTコネクターや、PDM16・32のASコネクターのピン（円柱状）をカシメる際は、専用工具が必要です。（品番：68073 DTMコネクター圧着工具）コネクターと同時に配線をお買い上げのお客様には、AVO/MoTeC Japanで圧着サービスも可能です。御注文の際に御相談ください。

接続時の注意点



接続時の注意点



PDM を単体で御使用の場合の PC との接続

PDMとノートPCの接続には、PDM側にCARケーブル、ノートPC側にUTCインターフェイスが必要です。
MoTeCECU とCAN接続する場合には、ECUのCARケーブルで接続できます。



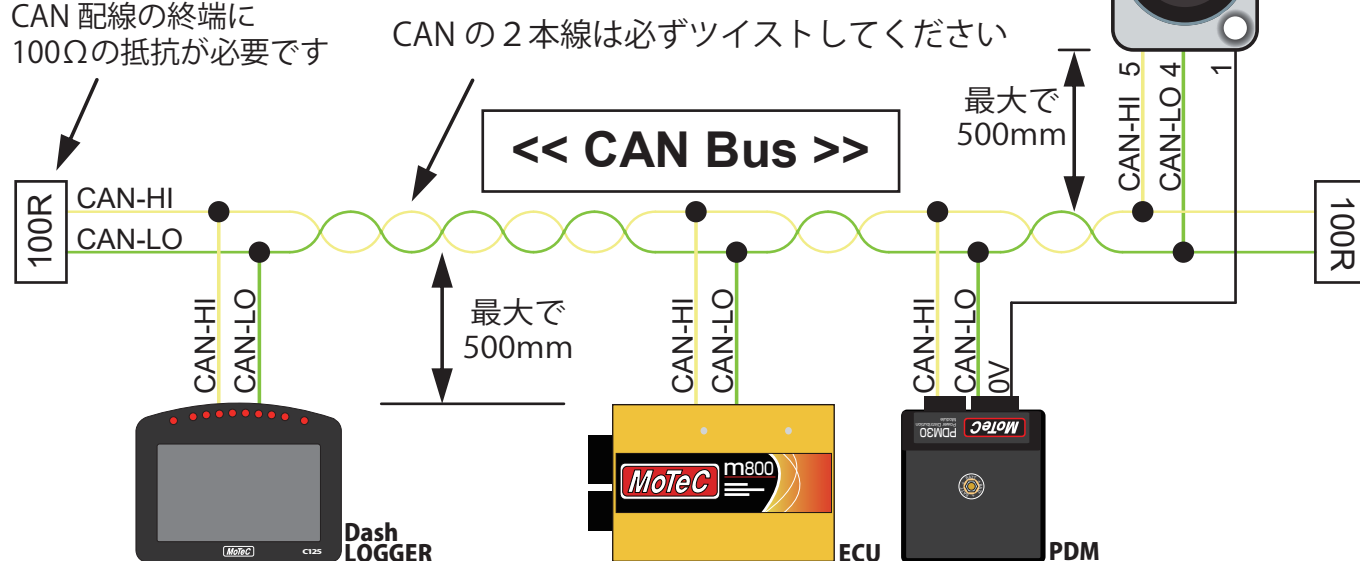
品番 61059 UTC インターフェイス USB ケーブル付

品番 61037 M800/M84 CAR ケーブル

他の MoTeC 製品との接続

100R レジスタ

CAN 配線の終端に
100Ωの抵抗が必要です



※CAN とは

MoTeC機器同士の接続で使用するCANとは、コントローラー エリア ネットワークの略で、2本の配線に複数の機器を繋ぐだけで、それぞれの機器同士が相互の情報通信をおこなえます。

機器同士をリンクさせる場合には、それぞれに入出力端子が必要です。従来の方で複数の機器をリンクさせようとすると、それぞれの機器に多数の入出力端子が必要になりますが、CANで接続すれば、CANの配線だけで数多くの機器と接続できるようになります。家庭やオフィスのパソコンをLANに接続するだけで、プリンターやインターネットなどに接続できることと、同じように便利なシステムです。

2本の配線は、土のような従来の「往復」的な概念ではなく、1つに普通の信号、もう1つに逆位相の信号を送っています。この2本をツイストすることで、外部からの電圧（ノイズ）が加わっても、電圧の差に大きな変化が起きないため、ノイズに強いというメリットもあります。

接続後に「UTCを外すとエラーが発生する」場合には、100Ω抵抗の接点を再度確認して下さい。

AVO/MoTeC Japan純正 Mil-Specワイヤー



錫メッキされた高純度銅線を、耐熱・耐薬品性に優れる被覆と組み合わせたワイヤーハーネスです。高温下のエンジンルームでも長期に渡り高い信頼性を誇ります。基本は100m単位での販売ですが、1m単位での御希望も承ります。

品番	MoTeC純正ワイヤー	カラー
61000	ワイヤー3コアシールド/1m	
62007	16ゲージ 1.25sq テフロン被覆/1m	
62008	18ゲージ 0.75sq テフロン被覆/1m	
62005	20ゲージ 0.5sq テフロン被覆/1m	
62003	22ゲージ 0.3sq テフロン被覆/1m	

AWG	スケア	長さ(m)	導線		絶縁被覆		導線抵抗 Ω /km以下	最大 許容電流(A)
			断面積 (mm2)	外径 (mm)	厚さ	総外径 (mm)		
22	0.3	100	0.3	0.8	0.15	1.1	53.1	10
20	0.5		0.5	1.02	0.15	1.32	32.4	14
18	0.75		0.9	1.27	0.2	1.67	20.4	20
16	1.25		1.25	1.44	0.2	1.84	15.8	24
14	2		2	1.81	0.2	2.21	10	32

実際に使用する際の最大電流は、**表記の約半分**を目安にしてください。ワイヤーハーネスの耐用温度は最大150℃ですが、この数字は単純な外気温度だけではなく、配線内部温度、外部接触物など、さまざまな要因を含みます。4ゲージと2ゲージは、PDM16/32に使用する電源用です。コネクタ付きの専用品を取り扱っておりますので、御希望の方はAVO/MoTeC Japanまでお問い合わせください。

PDM端子	PDM15/30	8ピンASコネクター	26ピンASコネクター	37ピンASコネクター
推奨ワイヤーハーネス	20ゲージ	16ゲージ	20ゲージ	22ゲージ

PDM各コネクタにMoTeC純正ワイヤーハーネスを使用した場合の推奨サイズです。PDM15・30は入出力共に20ゲージが推奨サイズです。PDM16・32は各コネクタ適応サイズのワイヤーハーネスを御使用ください。

AS コネクターについて

PDM32 (A コネクター用)
38 ピン AS コネクター

奥まで挿し込むと
カチッとロックする

抜くときは
ピン抜き工具を使う

工具と一緒に
ピンが抜ける

PDM16/32のASコネクターは、専用の圧着ツールでカシメたピンを、後ろから挿し込んで組み立てます。奥まで押し込むと、カチッとロックが掛かります。引き抜く際は、専用のピン抜きツールを使用します。配線を包むようにしてツールをコネクタに挿し込んで、配線と一緒にゆっくり引き抜くと、ピンも一緒に抜けます。左が品番68085 ピン抜き工具です。

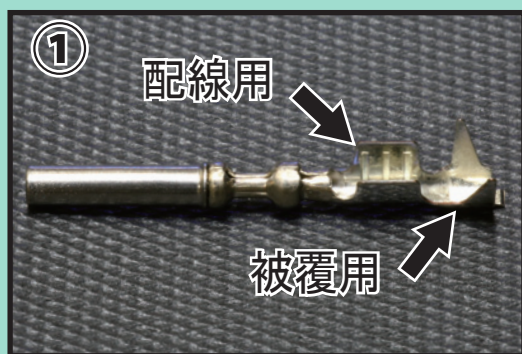
PDM15/30ピンの圧着



品番：68108
ECUピン圧着工具



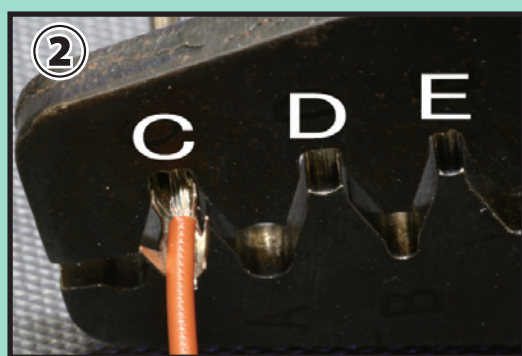
MoTeC の端子をカシメるための専用ツールです。C・D・Eが配線部分用で、A・Bが被覆用です。



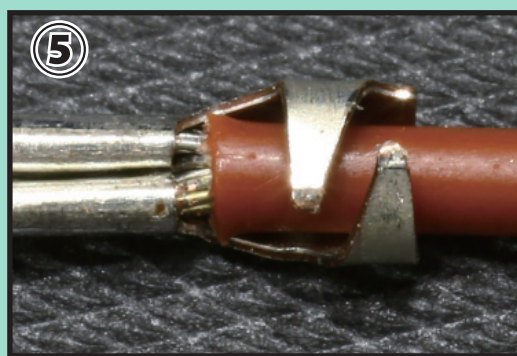
ECU用のピンには、カシメ部分が2カ所あります。配線用が平型で被覆用が三角のツバ状です。



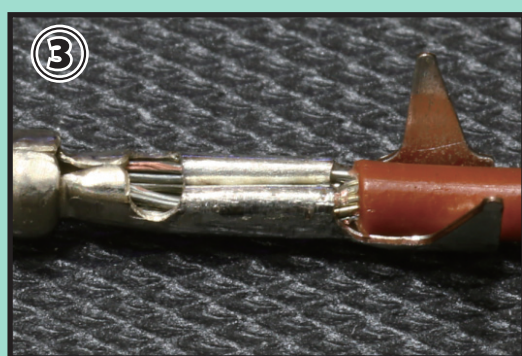
次に被覆の部分を締めめます。三角のツバ状の部分を画像の向きにAで締めます。



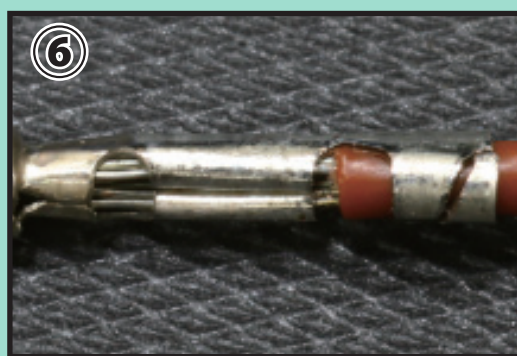
配線を配線用のカシメ部分に合わせ、C・Dの順で力一杯締め、最後にEで力を調整しながら締めます。



これがAで締めた状態。三角のツバが被覆を包むようになります。腕組みしているような形状です。



配線部分をカシメた状態。締めが弱いと引っ張るだけで抜けてしまうので、しっかりと締めます。



さらにBで締め込めば作業は終了。2カ所ですっかりとカシめることで、抜けを防止します。



配線と被覆の部分をカシメたら、各ピンをコネクタに取り付けていきます。



白い部分を爪やマイナスドライバーで押し込むとロック解除。ピンを抜き差しできます。



反対側に2つ白い突起が出ますので、これを押し込めばピンがロックされます。

PDM15 ピン配列

Aコネクター 34ピン防水	
A1	20Aアウトプット1(A10と共に使用)
A2	8Aアウトプット9
A3	20Aアウトプット2(A12と共に使用)
A4	8Aアウトプット10
A5	20Aアウトプット3(A14と共に使用)
A6	8Aアウトプット11
A7	20Aアウトプット4(A16と共に使用)
A8	8Aアウトプット12
A9	20Aアウトプット5(A17と共に使用)
A10	20Aアウトプット1(A1と共に使用)
A11	8Aアウトプット13
A12	20Aアウトプット2(A3と共に使用)
A13	8Aアウトプット14
A14	20Aアウトプット3(A5と共に使用)
A15	8Aアウトプット15
A16	20Aアウトプット4(A7と共に使用)
A17	20Aアウトプット5(A9と共に使用)
A18	—
A19	デジタル/スイッチインプット2
A20	—
A21	デジタル/スイッチインプット4
A22	—
A23	デジタル/スイッチインプット7
A24	—
A25	—
A26	バッテリー — 端子
A27	デジタル/スイッチインプット1
A28	0V
A29	デジタル/スイッチインプット3
A30	デジタル/スイッチインプット5
A31	デジタル/スイッチインプット6
A32	デジタル/スイッチインプット8
A33	デジタル/スイッチインプット9
A34	デジタル/スイッチインプット10

Bコネクター 26ピン防水	
B1	—
B2	—
B3	20Aアウトプット6(B9と共に使用)
B4	—
B5	20Aアウトプット7(B11と共に使用)
B6	—
B7	20Aアウトプット8(B13と共に使用)
B8	—
B9	20Aアウトプット6(B3と共に使用)
B10	—
B11	20Aアウトプット7(B5と共に使用)
B12	—
B13	20Aアウトプット8(B7と共に使用)
B14	—
B15	デジタル/スイッチインプット13
B16	—
B17	デジタル/スイッチインプット15
B18	バッテリー — 端子
B19	—
B20	デジタル/スイッチインプット11
B21	デジタル/スイッチインプット12
B22	0V
B23	デジタル/スイッチインプット14
B24	デジタル/スイッチインプット16
B25	CAN Lo
B26	CAN Hi

Cコネクター M6ナット	
C1	バッテリー + 端子

※注意※

20A のアウトプットはそれぞれ 2 個ずつありますが、1つの機器に 2 本共接続して使用します。これは細い 1 本の線では大電流を流せないためです。

専用コネクター

65044 A コネクター用 M800 34 ピンコネクターキット

65045 B コネクター用 M800 24 ピンコネクターキット



C コネクター

B コネクター

A コネクター

PDM30 ピン配列

Aコネクター 34ピン防水	
A1	20Aアウトプット1(A10と共に使用)
A2	8Aアウトプット9
A3	20Aアウトプット2(A12と共に使用)
A4	8Aアウトプット10
A5	20Aアウトプット3(A14と共に使用)
A6	8Aアウトプット11
A7	20Aアウトプット4(A16と共に使用)
A8	8Aアウトプット12
A9	20Aアウトプット5(A17と共に使用)
A10	20Aアウトプット1(A1と共に使用)
A11	8Aアウトプット13
A12	20Aアウトプット2(A3と共に使用)
A13	8Aアウトプット14
A14	20Aアウトプット3(A5と共に使用)
A15	8Aアウトプット15
A16	20Aアウトプット4(A7と共に使用)
A17	20Aアウトプット5(A9と共に使用)
A18	8Aアウトプット16
A19	デジタル/スイッチインプット2
A20	8Aアウトプット17
A21	デジタル/スイッチインプット4
A22	8Aアウトプット18
A23	デジタル/スイッチインプット7
A24	8Aアウトプット19
A25	8Aアウトプット20
A26	バッテリー - 端子
A27	デジタル/スイッチインプット1
A28	0V
A29	デジタル/スイッチインプット3
A30	デジタル/スイッチインプット5
A31	デジタル/スイッチインプット6
A32	デジタル/スイッチインプット8
A33	デジタル/スイッチインプット9
A34	デジタル/スイッチインプット10

Bコネクター 26ピン防水	
B1	8Aアウトプット21
B2	8Aアウトプット22
B3	20Aアウトプット6(B9と共に使用)
B4	8Aアウトプット23
B5	20Aアウトプット7(B11と共に使用)
B6	8Aアウトプット24
B7	20Aアウトプット8(B13と共に使用)
B8	8Aアウトプット25
B9	20Aアウトプット6(B3と共に使用)
B10	8Aアウトプット26
B11	20Aアウトプット7(B5と共に使用)
B12	8Aアウトプット27
B13	20Aアウトプット8(B7と共に使用)
B14	8Aアウトプット28
B15	デジタル/スイッチインプット13
B16	8Aアウトプット29
B17	デジタル/スイッチインプット15
B18	バッテリー - 端子
B19	8Aアウトプット30
B20	デジタル/スイッチインプット11
B21	デジタル/スイッチインプット12
B22	0V
B23	デジタル/スイッチインプット14
B24	デジタル/スイッチインプット16
B25	CAN Lo
B26	CAN Hi

Cコネクター M6ナット	
C1	バッテリー + 端子

※注意※

20A のアウトプットはそれぞれ 2 個ずつありますが、1 つの機器に 2 本共接続して使用します。これは細い 1 本の線では大電流を流せないためです。

専用コネクター

65044 A コネクター用 M800 34 ピンコネクターキット

65045 B コネクター用 M800 24 ピンコネクターキット



C コネクター

B コネクター

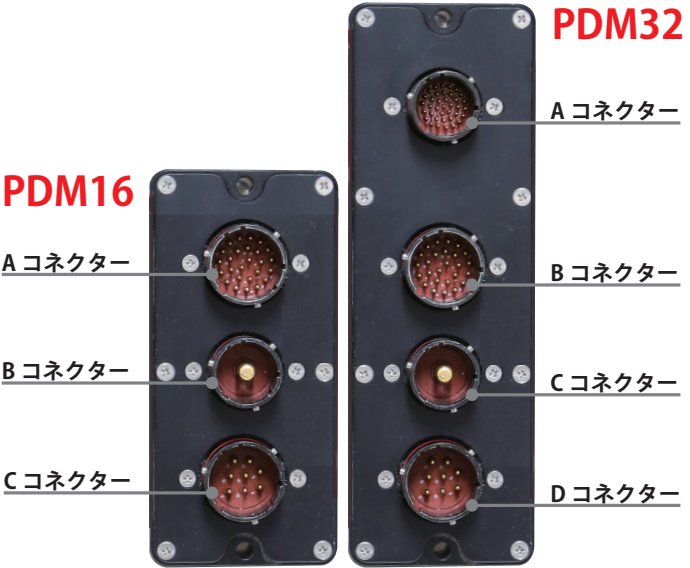
A コネクター

PDM16 ピン配列

Aコネクター 26ピンオートスプーツ	
A_A	8Aアウトプット9
A_B	8Aアウトプット10
A_C	8Aアウトプット11
A_D	デジタル/スイッチインプット1
A_E	デジタル/スイッチインプット2
A_F	デジタル/スイッチインプット3
A_G	0V
A_H	0V
A_J	CAN Lo
A_K	CAN Hi
A_L	8Aアウトプット14
A_M	8Aアウトプット14
A_N	8Aアウトプット14
A_P	8Aアウトプット14
A_R	8Aアウトプット14
A_S	デジタル/スイッチインプット2
A_T	デジタル/スイッチインプット2
A_U	デジタル/スイッチインプット2
A_V	デジタル/スイッチインプット2
A_W	デジタル/スイッチインプット4
A_X	デジタル/スイッチインプット2
A_Y	デジタル/スイッチインプット2
A_Z	デジタル/スイッチインプット2
A_a	デジタル/スイッチインプット2
A_b	バッテリー - 端子
A_c	バッテリー - 端子

Bコネクター 1ピンオートスプーツ	
B_1	バッテリー + 端子

Cコネクター 8ピンオートスプーツ	
C_A	20Aアウトプット1
C_B	20Aアウトプット2
C_C	20Aアウトプット3
C_D	20Aアウトプット4
C_E	20Aアウトプット5
C_F	20Aアウトプット6
C_G	20Aアウトプット7
C_H	20Aアウトプット8



※注意※

配線にはさまざまなグレードや規格が存在します。同じ太さの配線でも、それぞれ許容電流値が異なりますので御注意願います。太ければ大丈夫という物ではありません。

PDM16 の B コネクター、PDM32 の C コネクターは、御使用になる配線の太さに応じて 2 種類のコネクタから選択してください。PDM16 で最大 100A、PDM32 で最大 120A の電流を必要とします。対応できない配線では、発熱や発火の恐れがありますので御注意願います。

PDM16・32 専用コネクター

品番	製品名
68089	37 ピン PDM32A 用コネクター
65040	26 ピン PDM32B/16A 用コネクター
68092	8 ピン PDM32D/16C 用コネクター
68093	1 ピン PDM32C/16B 用コネクター (6 ゲージ /14sq)
68094	1 ピン PDM32C/16B 用コネクター (4 ゲージ /22sq)

PDM32 ピン配列

Aコネクター 37ピン防水	
A1	デジタル/スイッチインプット1
A2	デジタル/スイッチインプット2
A3	デジタル/スイッチインプット3
A4	デジタル/スイッチインプット4
A5	デジタル/スイッチインプット5
A6	0V
A7	0V
A8	0V
A9	0V
A10	CAN Lo
A11	CAN Hi
A12	デジタル/スイッチインプット6
A13	デジタル/スイッチインプット7
A14	デジタル/スイッチインプット8
A15	デジタル/スイッチインプット9
A16	デジタル/スイッチインプット10
A17	デジタル/スイッチインプット11
A18	デジタル/スイッチインプット12
A19	デジタル/スイッチインプット13
A20	デジタル/スイッチインプット14
A21	デジタル/スイッチインプット15
A22	0V
A23	0V
A24	0V
A25	0V
A26	デジタル/スイッチインプット16
A27	デジタル/スイッチインプット17
A28	デジタル/スイッチインプット18
A29	デジタル/スイッチインプット19
A30	デジタル/スイッチインプット20
A31	デジタル/スイッチインプット21
A32	デジタル/スイッチインプット22
A33	デジタル/スイッチインプット23
A34	－
A35	－
A36	－
A37	－

Cコネクター 1ピンオートスポーツ	
C1	バッテリー +端子

Bコネクター 26ピン防水	
B_A	8Aアウトプット9
B_B	8Aアウトプット10
B_C	8Aアウトプット11
B_D	8Aアウトプット12
B_E	8Aアウトプット13
B_F	8Aアウトプット14
B_G	8Aアウトプット15
B_H	8Aアウトプット16
B_J	8Aアウトプット17
B_K	8Aアウトプット18
B_L	8Aアウトプット19
B_M	8Aアウトプット20
B_N	8Aアウトプット21
B_P	8Aアウトプット22
B_R	8Aアウトプット23
B_S	8Aアウトプット24
B_T	8Aアウトプット25
B_U	8Aアウトプット26
B_V	8Aアウトプット27
B_W	8Aアウトプット28
B_X	8Aアウトプット29
B_Y	8Aアウトプット30
B_Z	8Aアウトプット31
B_a	8Aアウトプット32
B_b	バッテリー -端子
B_c	バッテリー -端子

Dコネクター 8ピンオートスポーツ	
D_A	20Aアウトプット1
D_B	20Aアウトプット2
D_C	20Aアウトプット3
D_D	20Aアウトプット4
D_E	20Aアウトプット5
D_F	20Aアウトプット6
D_G	20Aアウトプット7
D_H	20Aアウトプット8

※**注意**※ 配線にはさまざまなグレードや規格が存在します。同じ太さの配線でも、それぞれ許容電流値が異なりますので御注意願います。太ければ大丈夫という物ではありません。

PDM16 の B コネクター、PDM32 の C コネクターは、御使用になる配線の太さに応じて 2 種類のコネクターから選択してください。PDM16 で最大 100A、PDM32 で最大 120A の電流を必要とします。対応できない配線では、発熱や発火の恐れがありますので御注意願います。



PDMシリーズ諸元表

	PDM15	PDM16	PDM30	PDM32
全般				
バッテリー電圧	最大30V/最小6.5V	最大31V/最小6.5V	最大32V/最小6.5V	最大33V/最小6.5V
消費電流	通常消費35mA 通常待機電力5mA	通常消費36mA 通常待機5mA	通常消費37mA 通常待機5mA	通常消費38mA 通常待機5mA
総出力電流	100A	101A	120A	121A
リバースバッテリー保護 (PDMと接続されているすべてのデバイスの保護)	○			
負荷ダンプ過渡保護 (PDMと接続されているすべてのデバイスの保護)	○			
動作温度(最大120度/内部)	○			
重量	260g	300g	270g	405g
サイズ	107×127×39mm	130×60×28mm	107×127×39mm	180×60×28mm
ケース	マグネシウム	アルミ削り出し	マグネシウム	アルミ削り出し
コネクタ	防水	オートスポーツ	防水	オートスポーツ
PCコミュニケーション	UTCを介してCAN			
20Aアウトプット				
20A出力数	8			
出力電流	○			
常時20A 瞬間最大115A	○			
1Aの段階で過電流シャットダウン設定	○			
ショート回路と熱負荷保護	○			
8Aアウトプット				
8A出力数	7	8	22	24
常時8A 瞬間最大60A	○			
1Aの段階で過電流シャットダウン設定	○			
ショート回路と熱負荷保護	○			
スイッチインプット				
入力数	16	12	16	23
プルアップ10kレジスタ 電池+	○			
0～51Vの測定範囲、分解能0.2V(8ビット)	○			
校正:ハイ/ロースイッチ電圧、ハイ/ロースイッチ	○			
CANインプット				
4つの入力情報を情報ごとに8バイト	○			
ビットマスク	○			
CANアウトプット				
送信チャンネル:アウトプット電流	○			
送信チャンネル:アウトプット負荷	○			
送信チャンネル:アウトプット電圧	○			
送信チャンネル:アウトプット状態	○			
送信チャンネル:インプット電圧	○			
送信チャンネル:インプット状態	○			
送信チャンネル:バッテリー電圧	○			
送信チャンネル:内部温度	○			
送信チャンネル:トータル電流	○			
論理演算				
設定可能な演算:フラッシュ、パルス、 セット/リセット、トグル、AND、OR、>、<、NEQ、EQ	○			
演算数	200			

AVO / MoTeC Japan

埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田 1449-2
TEL: 048-797-0008 avo@avomotec.com
禁無断転載・複製を禁じます